広報五城目

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
（電話 五城目 501番～505番）
印刷所 小浜印刷所 電話 6058番 （一部五円）

残暑

立秋にはいつてから、本格的な夏がやつてきた。連日30度を越す高温で、農家は〝ひと照り百万石〟とよろこんでいる。

きようも、こども達は箱船遊びで、残暑を追いはらつている。

9月の納税

▷ 固定資産税 3期

9月30日が納期限です。おわすれなく納めてください。なお前の税金を納めていない方も、早目に納めるようご協力ください。

国民年金

支給額2.5倍引き上げ

四十一年一月分から実施

国民年金は大幅に改善されました。改正の中心は拠出年金（保険料を納める年金）で、その引き上げ率は二倍半という大幅なものです。

各年金の改正前と改正後の比較を見ますと（（ ）内改正前）

▼老齢年金＝保険料を二十五年納めた場合、毎月五千円（毎月二千円）で、夫婦あわせて一万円支給されます。保険料が免除された場合はこの三分の一です。

▼障害年金＝最低保障額は毎月五千円（二千円）で、重い障害者にはこれに毎月千円（五百円）加算されます。

▼母子、準母子年金＝子が二人の場合毎月五千円（二千円）で、子の数によって額がちがいます。

▼遺児年金＝最低保障額は毎月二千五百円（千円）で、遺児の数によって額がちがいます

▼死亡一時金＝五千円から五万二千円までで、保険料を納めた年数によってちがいます。

（この年金は従来どおり）

【福祉年金】＝保険料を納めない年金＝

▼老齢＝月額千五百円（千三百円）▼障害＝月額二千二百円（二千円）▼母子、準母子＝月額千七百円（千五百円）とおのおの月額二百円が引き上げられました。

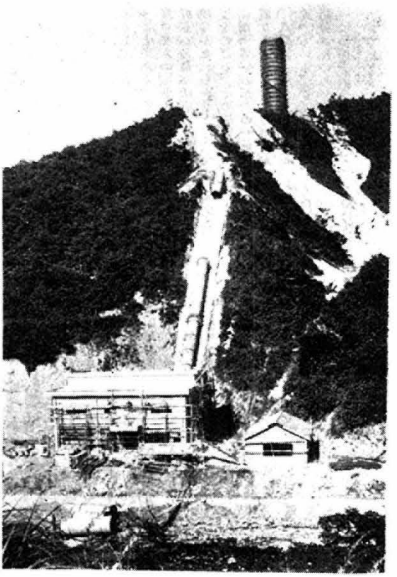
かけ金は月額百円あがる

かけ金（保険料）の額は、こんどの改正で次のようになります

▼四十一年十二月まではいままでどおり（三十四歳まで月百円、三十五歳から月百五十円

▼四十二年一月分から、三十四歳まで月二百円、三十五歳から月二百五十円。

◎いつでも年金をうけられるように完納しましょう。



杉沢発電所

杉沢発電所の工事は順調に進み、十一月上旬にはほとんどでき上る。総工費は十七億六千万円で、日本一といわれる直径十m高さ四十一mの調圧水槽の威容が目立つ。導水管は直径二・五五m高さ五百三十mで、県内でも有数のもの。 写真 竣工ま近い杉沢発電所 （八月十日撮影）

渡辺道蔵氏 郡老人ク会長に

南秋田郡老人クラブ連合会長連絡協議会は、八月二十日新発足し、初代会長に渡辺道蔵氏が選ばれました。

この連絡会は管内各町村老人クラブの連絡と親ぼく、福祉増進をはかることを目的としています。

建物調査にご協力を

固定資産の評価替え

昭和四十二年度の固定資産税は、家屋など建物の評価替えによる価額に基いて、課税することになっています。

この調査は全世帯を対象に行なうもので、特に新築増築、改築については詳細に調査させていただきますから、よろしくご協力ください。

なお、この調査は八月二十三日からはじまり、九月二十六日に終わる予定ですが、ご家庭に配布されたチランの日程は、各班の調査の進みぐあいによって一、二日の繰り上げ、繰り下げもあると思いますので、ご了承ください。

善意に感謝

五城目町産土会（会長伊藤文太郎氏）から富田火災へと現金七千七百九十六円、内川湯ノ又沢田石サメさんから香典返しとして五千円それぞれ善意銀行へ予託しました。

また、雀館児童館へは児童向きの雑誌と図書を、関根栄三郎さんから五冊、築地町佐藤セツさんから二十八冊、館町畑沢儀八さんから三十四冊、古川町小笠原弘さんから六十冊、館町田口哲治さんから八冊、館町金子松之助さんからテーブル掛一枚それぞれ寄せられました

町職員の事務研修

八月二十日第一会議室を会場として、町職員の研修会を開きました。

このたびの研修は、雇員と臨時職員を対象に、小林町助役から「地方公務員の態度並びに服務の規定」などについての講演及び解説がありました。

今後毎月一回継続的に研修会を開催し、自治体における事務など、あらゆる面の向上をはかることになりました。

県政モニター

本町の県政モニターとして次の方々が小畑知事から委嘱されました。

▽猿田俊雄(34)農業 樋口▽宮川庄太郎(53)農業 帝釈寺▽鍋谷芳郎(47)呉服商長町 ▽伊藤光雄(40)団体職員館町 ▽熊谷直(54)行政書士中川原 ▽工藤サワ(48)主婦浅見内▽高堂ミエ(50)仲町

たばこは町内の店から買いましょう

お知らせ

農地報償金の手続きを早くしてください

農地報償金の請求申請は、昨年八月からはじめられ、第1回目の支払いがことしの6月15日全国一斉に行なわれました。

請求書の受付期限は昭和42年3月31日となっていますが、認定事務の都合上県では12月31日までに手続きを終えるよう望んでおりますのでできるだけ早く手続きをとってください。本町にはまだ手続きをしていない方が70名ぐらいおります

（総務課農地報償係）

敬老会

◎五城目 馬川 9月21日 五城目小で◎馬場目 9月15日 馬場目小で◎杉沢 9月17日 杉沢小で◎富津内東 9月16日 東小で◎同西 9月19日 西小で◎内川 9月14日 内川中で◎大川 9月12日 大川中で◎面潟 9月13日森山公民館で（各会場とも午後1時30分に開会します）

計量器（はかり）の検査

取り引きや証明などに使用している、計量器の定期検査を次の日程で行ないますから、必らず受けてください。

▷ 富津内地区 9月13日午前10時～12時 農協富津内支所で

▷ 内川地区 9月13日午後1時～3時 農協内川所所で

▷ 馬場目地区 9月14日午前10時～12時 農協馬場目支所で

▷ 大川地区 9月14日午後1時～3時 農協大川支所で

▷ 五城目地区 9月16・17日毎日午前10時～午後2時 中央公民館で

勤め人の奥さんも国民年金に加入できます

厚生年金、船員保険、公務員共済組合、公共企業体職員等共済組合などの公的年金にはいっている人の奥さんは、国民年金の強制加入から除かれています。そこで、ご主人の退職したあとの奥さんの老後、またはケガや死亡など不慮の場合に備えて任意加入の道をひらいていますので、役場住民課年金係へご相談ください。このほか、軍人恩給、遺族年金を受けている方および学生もできます。

永久選挙名簿の縦覧

町選挙管理委員会では、新しくつくられる永久選挙人名簿の縦覧を8月26日から9月9日まで行ないます。住所変更した方転入した方などは是非縦覧してください。

栄養価の高いくだもの

くだものの栄養はビタミンとミネラルであるから、ビタミン欠乏症などの栄養障害の人には、欠くことのできない食品です。しかし、たん白質と脂肪はほとんど含んでおりません。

くだものには、ブドウ糖、果糖のほか、リンゴ酸、酒石酸クエン酸などの有機酸がとけあっています。また、九〇%前後の水分を含んでいるので歯ざわりのよいさわやかな味をかもし出しています。

くだものは、からだの中の洗浄剤であり、消化剤であり成長剤であり、また、造血剤でもあります。

ビタミンは体内での貯蔵がきかないから、毎日少しずつとるほうがよいでしょう。

広報サロン

▽ここ数日来の夏型天候で作柄が明るくなったのは何よりもありがたい。

努力次第で平年作も夢ではないとのことであるが、病虫害防除に万全を期している。

農家数一、九〇六戸、農家人口一〇、九三二人で、農業は依然本町の基幹産業であるから町民は農業の作況は一大関心事である。

▽県の庁内誌に毎号小畑知事さんが「夜半つれづれ草」を掲載しているが、今回の夏季号には「くせ」について大へん面白い創作「県庁四十八くせ」を発表して職員に警告している。いろはカルタ式でまことにわかり易く一々ヒヤツとさせられる。

い イエスかノーかいわざるくせ
ろ ろん争をさけるくせ
……不勉強か、ひより見か……
は はきちがい、
……自由のはきちがい、民主主義のはきちがい
に にぎりつぶしのくせ
ほ ほうかむりのくせ
と とりまきを作るくせ
……とり入るくせと相まって……

あとは次号でご紹介しますなんだか特に一々思い当るような気がしてならない。

そこらに耳の痛い人もかなりいるのではないか。秋立つこの頃お互い健康第一に（K）

税金はこのように使われている

昭和四十一年度も五か月経過しましたが、みなさんからご協力をいただいている税金は町政は順調にすすんでおりますが、みなさんからご協力をいただいている税金はどの方面に、どのように使われているかについて、町広報発行日（毎月一日）直前の実績をお知らせし、納税その他について特段のご協力を得たいと思います。

なお、紙面の都合で何回かにわけて掲載いたします。

土木

全体の執行率は80％

本年度の土木費は総予算額の一〇・八％に当る約三千二百万円で、これを大きく分けると町単独の一般土木と、災害復旧の二つになります。

まず、町単独事業である一般土木関係では、八月末現在ですでにできあがったものに、高千富田、浅見内谷地田、寺庭各路線の改良並びに寺庭橋取り付け道路の新設及び、大川本村の道路測溝改良、岩野野球場橋、築地橋補修など道路関係六件で約二百八十六万円、橋二件で十九万四千円、上町線新設工事にともなう常濵寺移転地の整地費が百八十七万四千円で、計画事業十八か所のうち九か所が竣工し計画予算に対しては約六〇％の実績であります。従って、残りの四〇％については早期着工、早期竣工をめざしてすすめております。今後のおもな事業は次のとおりです。

①紀久栄町線（駅前～新町）舗装、長さ三七五m巾平均六m（県補助三分の一、町負担三分の二…このうち三分の一は受益者負担）…②馬場目町村道路改良、長さ二五三m巾四m③中村道路改良、長さ七四m巾四m。

災害復旧は90％を越す

また、三十九年、四十年の災害復旧工事では、浅見内滝ノ下川、馬場目水沢及び恋地地内、内川小倉の十か所で、工事総額が七百十九万二千円となっており、計画予算からみれば九八％の実績であります。

そのほかの災害復旧については、九月行なわれる国の査定によらなければならないので、明年度実施になる予定です。

（次号は経済関係の予定）

涼を求めて　中央公民館の年中行事となつた〃夏の馬場目岳登山観賞会〃は8月21日60名参加して行なわれた。当日は絶好の登山日和に恵まれ、山頂組は雄大な山岳美を、また、三階の滝組はからだに鳥膚のたつような涼味を満喫して、一日のたのしい旅を終つた。

一位に本町の石井チーム

全県おけ類製作競技会

第十回秋田県おけ類製作技術競技会は、全県から十八チームが参加し八月十九日五城目小学校体育館で開催されました。

競技種目は二人一組の団体競技で、風呂桶（おけ）一個を、三時間の持ち時間で製作するもので、当日は午前九時三十分から蒸すような暑さの中で技術を競い、結局次の方々が入賞しました。

なお、審査は県商工課長が審査長となり、六名の審査員によって厳正に行なわれました。

▼入賞者

一位　五城目おけ類協同組合　石井風呂おけ製作所

二位▽一席　仁賀保おけ業協同組合三浦おけ、たる製作所▽同二席　米前おけたる加工業協同組合▽同三席大館おけ、たる協同組合渡部おけ、たる製作所

写真　30度を越す暑さの中で、われこそは、と腕を振るうおけ作りの職人さんたち

阿部三郎氏 磐梯青年の家の講師に

このたび中央公民館の阿部社会教育主事は、長年にわたる社会教育推進の実績をかわれ、国立磐梯青年の家の強い要望により、来る九月十二日から十五日間非常勤講師として赴任し、全国各地の研修生に指導助言する事になりました。赴任期間中の活躍が期待されます。

第一回文化講座

鈴木・中村両氏を迎え

町教育委員会主催の第一回「文化講座」は百二十名の出席のもとに八月二日午後一時三十分から、五城目小学校体育館で開催されました。

講師は、日本経済新聞論説委員鈴木幸夫氏が「国民所得と物価をめぐる諸問題」と題して、また、明治大学教授文芸評論家中村光夫氏が「日本の近代文化と文学」と題して、それぞれ一時間三十分にわたって講演し、深い感銘を与えました。

史跡めぐり

中島の八幡宮

その一

分銅志静

広ヶ野から山内の八幡宮が下山内の中島へうつったのは大正十五年のことであるから、若い人には広ヶ野の八幡様といってもわからない筈である。しかもその場所が五中のグランドから二、三百米も奥まっているから広ヶ野の奥の奥といった感じである。町広報の三浦さんに八幡宮跡の写真をお願いしたら、いくら探しても見当らず、顔にクモの巣をかぶったり、アブに刺されたりして、カラもどりしたということである。その場所は広ヶ野のまん中にある小林という一軒家から東へはいり、養豚の小屋のかたわらを通って、少し小径をのぼる。その辺は雑木の林になっているがその一角に土を盛りあげたような台地があって、八幡宮と刻んだ立派な石碑が立っている。昔は前号にかいた相染さんのあたりから恰好のよい老松が手振りよろしくこの山中まで列をなしていたわけだが、戦争末期の松根油とりのため大方きりたおされてしまった。その松並木は小林の家の裏あたりから東にほぼ直角に折れまがっていたが、そこに中の鳥居があった。その前に森山の薬師の相撲と並び称された広ヶ野の相撲場があって、宵宮には山内と高崎の対抗相撲があり、祭日には全県から名力士が集まって力を競った。ここの相撲で優勝することが若者達のこよない夢であった。山内の中島に文太という青年があった。県議をした伊藤文吉さんの祖先だという。その青年も広ヶ野の優勝を夢見た一人である。二十一日の間広ヶ野の八幡様へウシの刻まいりをして、大力をさずけてくれることを祈願した。二十一日の満願の日、祈願が終ってからいつものように社の前の千年杉の太い幹をやっやっと突き立てると不思議にその杉が梢の先までゆらゆらとゆれた。それ以来、文太は連戦連勝し、から背は小さかったが相撲では文太の右に出るものがいなかった。文太に霊力を与えた千年杉も今はくされたボコボコの根株となって深い草の中にうずもれている。

この八幡宮から馬川よりにもう一つ八幡宮がある。高崎の八幡様である。この八幡様も大正十四年に馬川小学校前の神明社に統合されて、今はその跡地だけがある。昔はこの人里離れた山奥に山内と高崎の八幡宮が並び立っていたわけである。このことは大昔にここに大きな集落のあったことを物語っている。馬場目川や富津内川の治水がはじまった頃から、集落が南と北に分散していったのであろうこの二つの八幡宮のうしろの方に大きなモミの木が五六本立ちならんだところがある。その一番太いモミの木のそばに祠のあとがある。ここは下山内を拓いた大石孫右エ門の家のやしき跡だという。その祠には稲荷様があって、今は下山内の大石喜郎先生のやしきにその稲荷様があるという。写真にある中島の八幡宮は大正十五年に土崎の相染から社を買って来て、建てたもので、今そこに広ヶ野の八幡様がまつられているわけである。

（郷土史研究家）

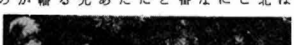


写真　中島の八幡宮

子どもに接する親の態度は こうでありたい

―主として中・高校生―

◎ **成績偏重主義にならない**

子どもの長所をみとめてやり子どものプライドを傷つけないようにしてやる。

◎ **叱るべきことは自信をもって**

親は監督の責任があるので、叱るべきときは遠慮なく、自信をもって叱らねばならない。それは悪いことをした場合である。

―**悪いこととは**―

☆子どもの成長に害がある場合

☆社会に対して害悪を与える場合

☆他人に迷惑をかける場合

☆兄弟でも害を加えるようだったら、叱らなければならない

◎ **動機を考えよ**

同じ行動でも動機を考えてやるべきである。この年頃は軽い不満のはけ口として、単なるいたずらとしてやっていることが多い。単なる行動のミスとして起ったことも、ほんとうに悪意をもってやったことも、一諸にして叱ることはよくない。

◎ **具体的な目標を**

理想をもたせる。進学をはげますとか、将来の希望を達成するための裏づけをしてやる。就職組も親がすまないという態度をとれば子どもはそう悪くは受けない。

◎ **叱る時は相手の冷静なときに**

カッとなっている時に叱るのは逆効果である。冷静なときに相手の心にひびくような叱り方をするのがよいと思う。しかし叱るべき事柄の起った時から、余り月日がたってしまったのでは、逆効果のおそれがある。叱るべき時と場所をよく考える必要があるわけです

（五城目警察署）

なくなる無防備踏切

〃踏切事故をなくそう〃と秋田鉄道管理局では、昭和三十九年度から踏み切りを立体交差にしたり、危い無人踏み切りに警報機や自動しゃ断機を取り付けたりして、踏み切りの安全をはかっております。

事故件数も昭和三十八年を頂点として段々減っていますが、それでも昨年中二百件にのぼりこのうち七十二件は列車にぶつかった事故で、死亡やケガ人は四十三人にのぼっています。

本年度も無防備踏み切りをなくすために、踏み切り整備に四億六千五百万円、立体交差に三億円をかけ国や県など道路管理者と協力して工事がすすめられ、管内三十八か所のうち三十六か所が本年中に完成します。

（八郎潟駅長）

〃どぶろく〃を追いだそう

どぶろく（密造酒）は不衛生な場所で、不完全なつくり方をするから、きわめて不潔で、それがため知らず知らずのうちに肝臓やじん臓がおかされるほか高血圧や胃がんなどの原因になることが、はっきり証明されています。

〃自分の米で自分が造って飲んで何が悪い〃という誤った考えをもつ人も、自分のからだをこわし、ひいては家族をも不幸にする「どぶろく」を造ることを絶対にやめましょう。

九月二十一日から三十日まで「密造酒をなくす運動」が、全県一斉に実施されます。昨年中秋田北税務署だけで百五件摘発されその九〇％が農村です。

どぶろくを造ったり、売ったり、持っていたりすることは、法律で禁じられており厳罰に処せられます。**造らぬ、買わぬ、飲まぬの三大運動にご協力ください。**

（秋田北税務署総務課長）